

『2013繊維イノベーション展示会』（第2回T.F.C）

by大阪・泉州 テキスタイル・ファッション・コンシェルジュ展

【イメージアップ・情報発信・展示会企画】

展示会開催要項

大阪繊維産地活性化ネットワーク協議会

『2013繊維イノベーション展示会』（第2回T.F.C展）

テキスタイル・ファッション・コンシエルジュ展

大阪繊維産地活性化ネットワーク協議会（事務局：泉大津商工会議所）は、25年度においても大阪府から委託を受け、アパレル・インテリア資材・雑貨向け素材の総合商談会『2013繊維イノベーション展示会』（第2回T.F.C展）を開催することになりました。昨年度の第1回の開催から得た改善点等を検証し、今年度は新たに「出展する産地企業がイノベーションを起こす」ことをコンセプトにスタートします。

【T.F.C.展って、何？】

- ・ モノづくり人間の出会いの場です
- ・ 商品の新たな編集が出来るヒト、コト、モノが揃った展示会です
- ・ 差別化ニーズに対応したコラボレーション先の出会いの場です
- ・ ファッションテキスタイルからテクニカルテキスタイルまで、日本の素材の神髄です

「イノベーション」とは、「企業が革新的な技術、あるいは商品やビジネスモデルを見出す事」です。「新結合」「新しい活用法」など、すでに存在している『知』と『知』を新しいアイデアで組合せる事で、新たな価値を生み出していく変化の事です。

・ 第2回T.F.C.展のコンセプト

「出展各社が、自社の技術を活かして「再編集」という新商品開発をすること」すなわち、自社の特徴を商品で提案できるようにして下さい。

・ 「素材の国」 = 泉州

高級素材から、混合素材、綿の一貫産地と泉州は素材の宝庫です。この特権を大いに活用して下さい。また、原料メーカー、染色整理加工メーカーとの商品開発に取り組む場合は、見本費用の50%（上限30,000円）を事業予算から補助しますので、積極的に実施して下さい。

・ 商品開発ニュースを発信します

各社が実施する新商品開発を、記事として掲載してもらうよう事務局からプレスへニュースリリースします。

・ お客様の要望に対してNOと言わない積極的な姿勢

第1回のコンセプト同様、産地企業は「総合世話係 = コンシエルジュ」となり、お客様の要望に対して「出来ませんわ」と言わない、新しいコラボレーションの提案を積極的に行ってください。

・ 印象に残る展示会

様々な繊維展示会がある中で、来場者の印象に残る仕掛けを考えて出展に望んで下さい。

『2013繊維イノベーション展示会』（第2回T.F.C展）

by テキスタイル・ファッション・コンシェルジュ

開催概要

① 展示会の目的

大阪・泉州ブランドの周知と、アパレル・インテリア・雑貨向けテキスタイル・繊維製品等の販路開拓

② 出展対象者

大阪府下に企画・製造・販売の拠点を持つ繊維製品製造業者、加工業者、協同組合等

③ 開催予定【東京開催のみ】

会 場 TEPIA (テピア) 3階A~C ホール 〒107 - 0061 東京都港区北青山2 - 8 - 44

(東京メトロ銀座線「外苑前」駅3番出口 徒歩3分)

展示設営 10月 1日 (火) 午後 (午前中はブース設営工事)

開催日時 10月 2日 (水) ・ 3日 (木) (2日AM10時~PM6時、3日AM10時~PM5時)

搬出撤去 10月 3日 (木) 展示会終了後PM5時~

④ 出展企業の受付に関して

※本展示会出展においては、出展申込み受付後、正副実行委員会内において出展審査を実施致します。

真にメーカーメリットが明確でない場合など、展示会趣旨にそぐわない場合は個別に調整させて頂く場合がありますのでご了承願います。

※出展料：1小間 50,000円 (宿泊交通費、商品等運送費は出展者負担)

(1) 出展意向の締め切り：5月31日

(2) 出展審査、調整期間：6月1日~ 6月下旬

(3) 出展者ガイダンス： 9月上旬

⑤ 出展サポート業務

・ 「企業説明パネル」の制作内容や、展示会案内へ記載する「企業メリットコメント」、出展商品等に関してコーディネーターを招聘し、各社とのヒアリングを行い効果的な演出のサポートを行います。

⑥ 展示方法に関して

昨年よりも一回り大きな出展小間を設置し、小間内で接客する【企業商談エリア】に加え、昨年好評だった【企業内容閲覧・インデックスエリア】を設置します。

【企業内容閲覧・インデックスエリア】には、それぞれの企業の特色が明確にわかる各社ごとのパネルを新規に制作し、一部の代表商品と併せて展示します。

来場者が大阪・泉州産地の特色、メリット、得意分野、ヒントetc..などの有益な情報収集を効果的に且つ、自由に気軽に行ってもらい、各社ブースに目的を持って入りやすくする狙いがあります。

言い換えるならば、「博物館」的な展示演出と言えます。

来場者は興味のある部分を自由に情報収集しながら閲覧し産地全体の知識を得ることができます。

従来の展示形態では、出展商品がメインになってしまい、「連携先との出会い」や「小ロット短期期先の発掘」といった、ビジネスパートナーとしてのきっかけづくりが効果的に出来ませんでした。

今回設置する【企業内容閲覧・インデックスエリア】の充実が本展示会の成功の鍵を握っていると言っても過言ではありません。

LAYOUT PLAN

TEPIA 3階エグジビジョンホール平面図

